

三重労働局発表
平成23年5月31日発表

	三重労働局職業安定部職業対策課	
担	課長	中野 壽男
	課長補佐	小西 克明
当	障害者雇用担当官	西 勝美
	☎059-226-2306	

三重県内のハローワークを通じた障害者の就職件数、大幅に増加 平成22年度における障害者の職業紹介状況等

三重県内のハローワークにおける平成22年度の障害者の就職件数は、雇用情勢が厳しいにもかかわらず、平成21年度の620件から大きく伸び、820件（対前年度比32.3%増）となった。（件数；全国23位、増加率；全国5位）

就職率も44.8%（同7.5%ポイント増）と、2年連続増加しました。

※ 民間企業（従業員56人以上）の実雇用率；1.50%（全国；1.68%） 雇用障害者数；2224.5人
（カウント）（平成22年6月1日現在）

※ 障害者実雇用率改善のためのプロジェクトチームを設置（平成23年度）

ポイント

- すべての障害種別で就職件数が伸びたが、特に精神障害者の伸びが大きい。
身体障害者 416件（対前年度比84件、25.3%増）
知的障害者 166件（対前年度比35件、26.7%増）
精神障害者 224件（対前年度比71件、46.4%増）
- 新規求職申込件数は1,831件で、同168件10.1%増加した。特に精神障害者の申込件数が571件（同169件、42.0%増）と大きく増加している。
- 産業別で見ると、医療・福祉（158件）、製造業（139件）、卸売・小売業（115件）、サービス業（106件）での就職件数がそれぞれ増加した。
- 職業別では、生産工程・労務の職業（376件）が45.9%を占め、事務的職業（143件、17.4%）、サービスの職業（71件、8.7%）が続いている。
- 解雇者数は25人で、平成21年度の解雇者数を20人下回った。

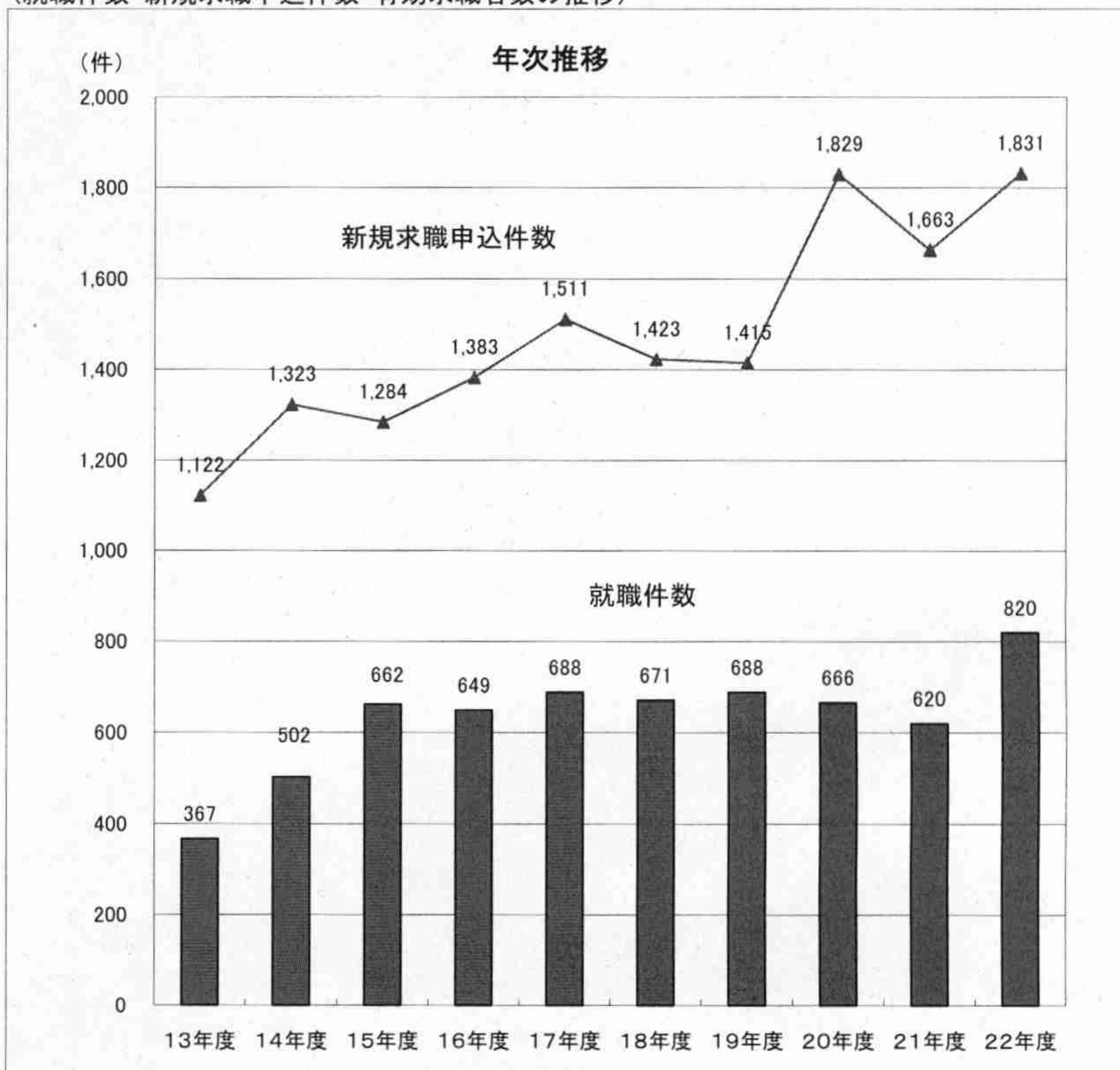
ハローワークにおける障害者の職業紹介状況

1. 概況

(件、人、%、%ポイント)

	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③就職件数		④就職率(③/①)	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
13年度	1,122	1.7	2,436	17.1	456	△ 15.6	40.6	△ 8.3
14年度	1,323	17.9	2,519	3.4	502	10.1	37.9	△ 2.7
15年度	1,284	△ 2.9	2,161	△ 14.2	662	31.9	51.6	13.6
16年度	1,383	7.7	1,953	△ 9.6	649	△ 2.0	46.9	△ 4.6
17年度	1,511	9.3	2,023	3.6	688	6.0	45.5	△ 1.4
18年度	1,423	△ 5.8	2,347	16.0	671	△ 2.5	47.2	1.6
19年度	1,415	△ 0.6	1,894	△ 19.3	688	2.5	48.6	1.5
20年度	1,829	29.3	2,035	7.4	666	△ 3.2	36.4	△ 12.2
21年度	1,663	△ 9.1	2,104	3.4	620	△ 6.9	37.3	0.9
22年度	1,831	10.1	2,276	8.2	820	32.3	44.8	7.5

(就職件数・新規求職申込件数・有効求職者数の推移)



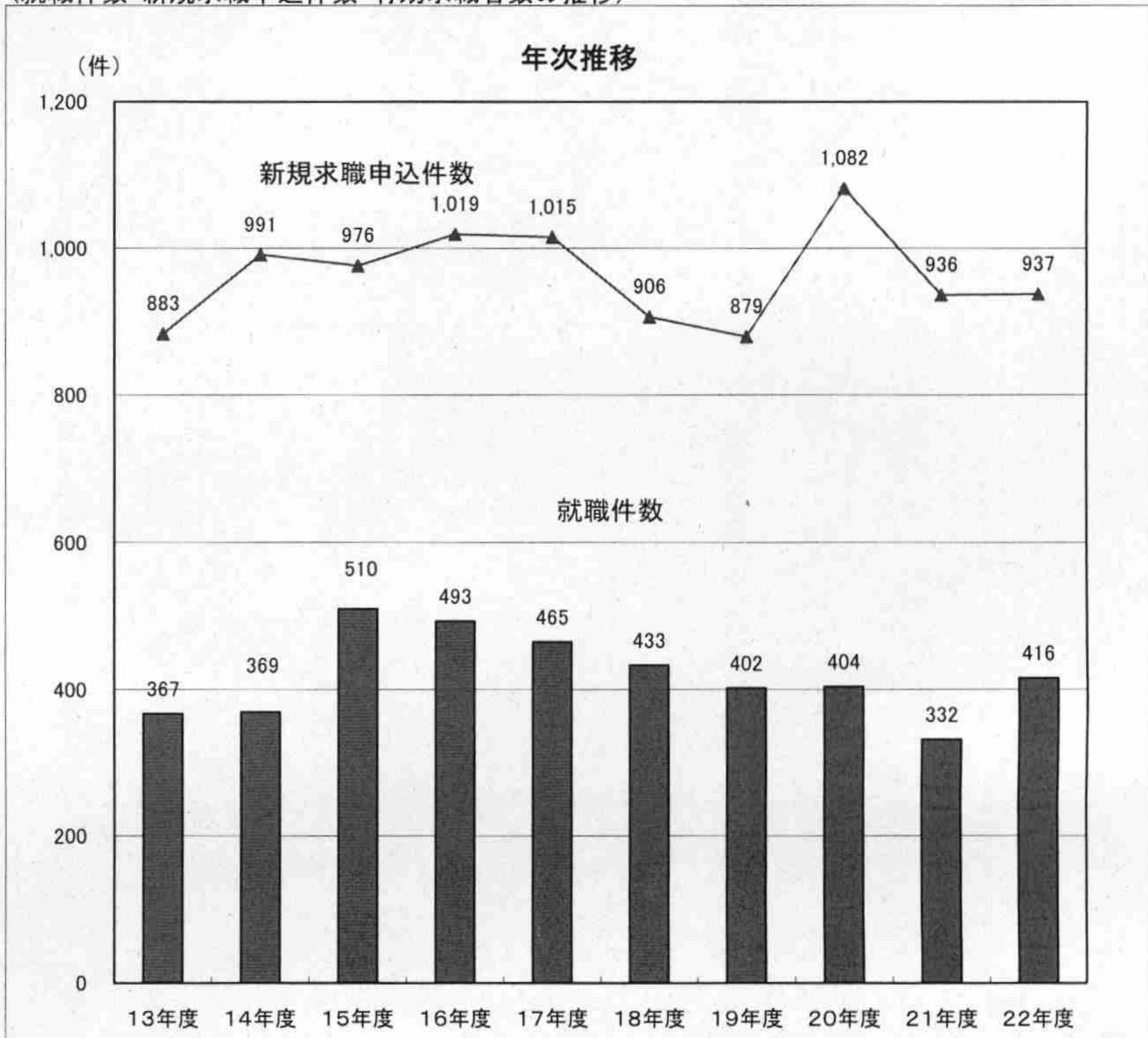
2. 障害種別の職業紹介状況

(1) 身体障害者

(件、人、%、%ポイント)

	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③就職件数		④就職率(③/①)	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
13年度	883	△ 7.3	1,909	28.8	367	△ 1.9	41.6	2.3
14年度	991	12.2	1,892	△ 0.9	369	0.5	37.2	△ 4.3
15年度	976	△ 1.5	1,613	△ 14.7	510	38.2	52.3	15.0
16年度	1,019	4.4	1,424	△ 11.7	493	△ 3.3	48.4	△ 3.9
17年度	1,015	△ 0.4	1,436	0.8	465	△ 5.7	45.8	△ 2.6
18年度	906	△ 10.7	1,597	11.2	433	△ 6.9	47.8	2.0
19年度	879	△ 3.0	1,214	△ 24.0	402	△ 7.2	45.7	△ 2.1
20年度	1,082	23.1	1,222	0.7	404	0.5	37.3	△ 8.4
21年度	936	△ 13.5	1,192	△ 2.5	332	△ 17.8	35.5	△ 1.8
22年度	937	0.1	1,172	△ 1.7	416	25.3	44.4	8.9

(就職件数・新規求職申込件数・有効求職者数の推移)

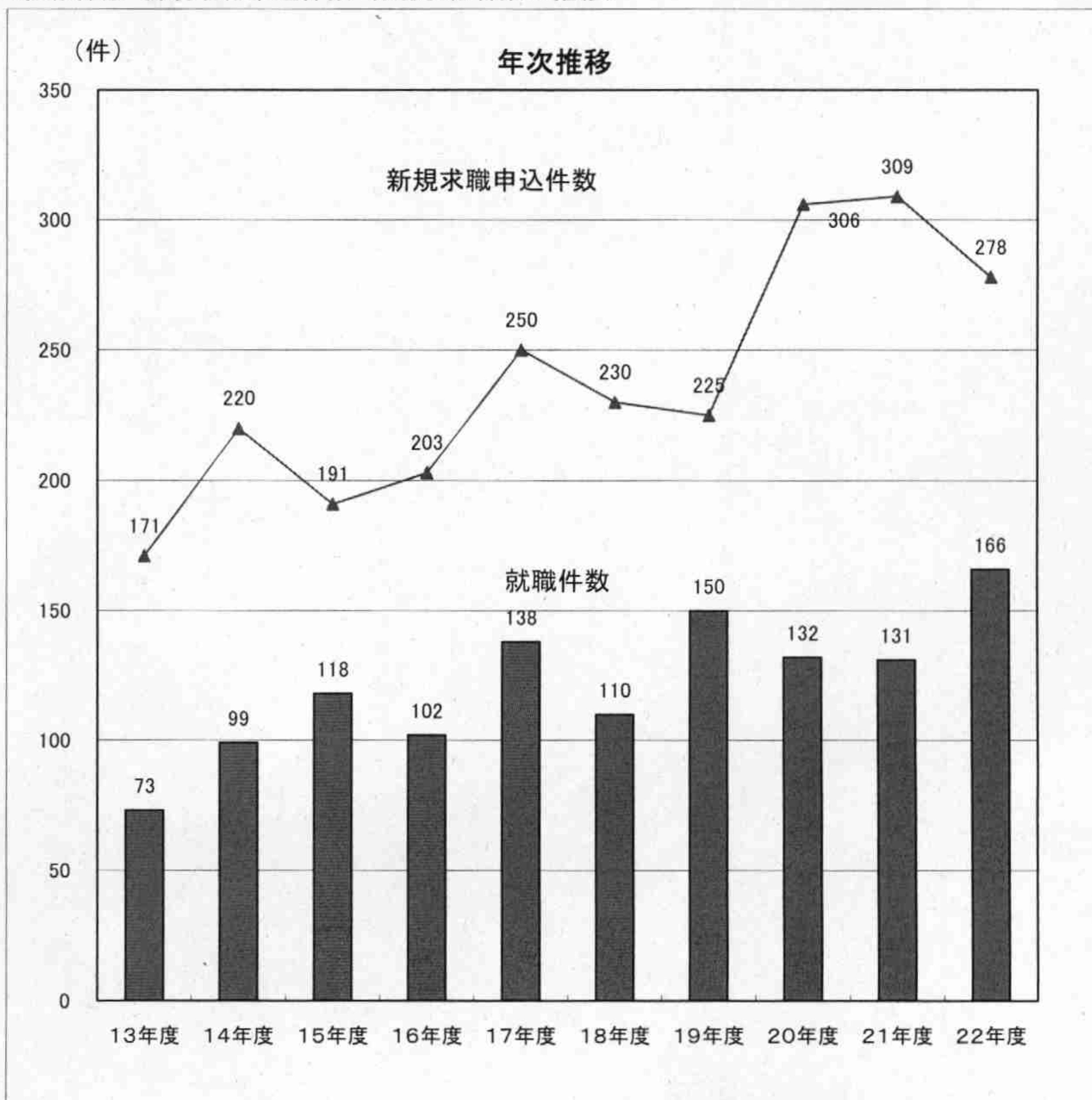


(2) 知的障害者

(件、人、%、%ポイント)

	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③就職件数		④就職率(③/①)	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
13年度	171	△ 1.2	371	22.0	73	△ 26.3	42.7	△ 14.5
14年度	220	28.7	426	14.8	99	35.6	45.0	2.3
15年度	191	△ 13.2	363	△ 14.8	118	19.2	61.8	16.8
16年度	203	6.3	337	△ 7.2	102	△ 13.6	50.2	△ 11.5
17年度	250	23.2	334	△ 0.9	138	35.3	55.2	5.0
18年度	230	△ 8.0	396	18.6	110	△ 20.3	47.8	△ 7.4
19年度	225	△ 2.2	316	△ 20.2	150	36.4	66.7	18.8
20年度	306	36.0	334	5.7	132	△ 12.0	43.1	△ 23.5
21年度	309	1.0	408	22.2	131	△ 0.8	42.4	△ 0.7
22年度	278	△ 10.0	404	△ 1.0	166	26.7	59.7	17.3

(就職件数・新規求職申込件数・有効求職者数の推移)

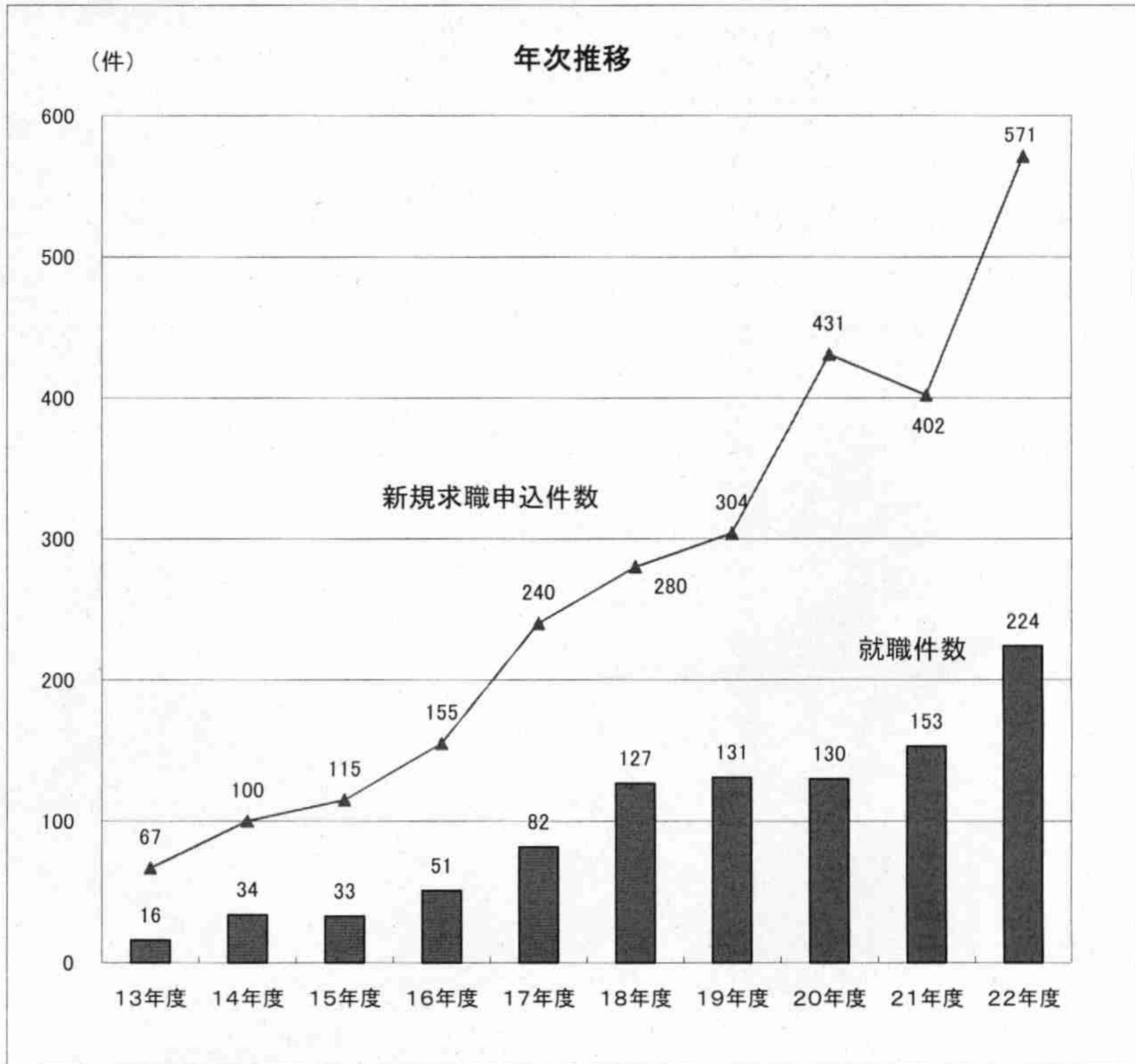


(3)精神障害者

(件、人、%、%ポイント)

	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③就職件数		④就職率(③/①)	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
13年度	67	4.7	152	24.6	16	△ 5.9	23.9	△ 2.7
14年度	100	49.3	187	23.0	34	112.5	34.0	10.1
15年度	115	15.0	175	△ 6.4	33	△ 2.9	28.7	△ 5.3
16年度	155	34.8	188	7.4	51	54.5	32.9	4.2
17年度	240	54.8	247	31.4	82	60.8	34.2	1.3
18年度	280	16.7	346	40.1	127	54.9	45.4	11.2
19年度	304	8.6	357	3.2	131	3.1	43.1	△ 2.3
20年度	431	41.8	469	31.4	130	△ 0.8	30.2	△ 12.9
21年度	402	△ 6.7	489	4.3	153	17.7	38.1	7.9
22年度	571	42.0	668	36.6	224	46.4	39.2	1.2

(就職件数・新規求職申込件数・有効求職者数の推移)



(4) その他の障害者

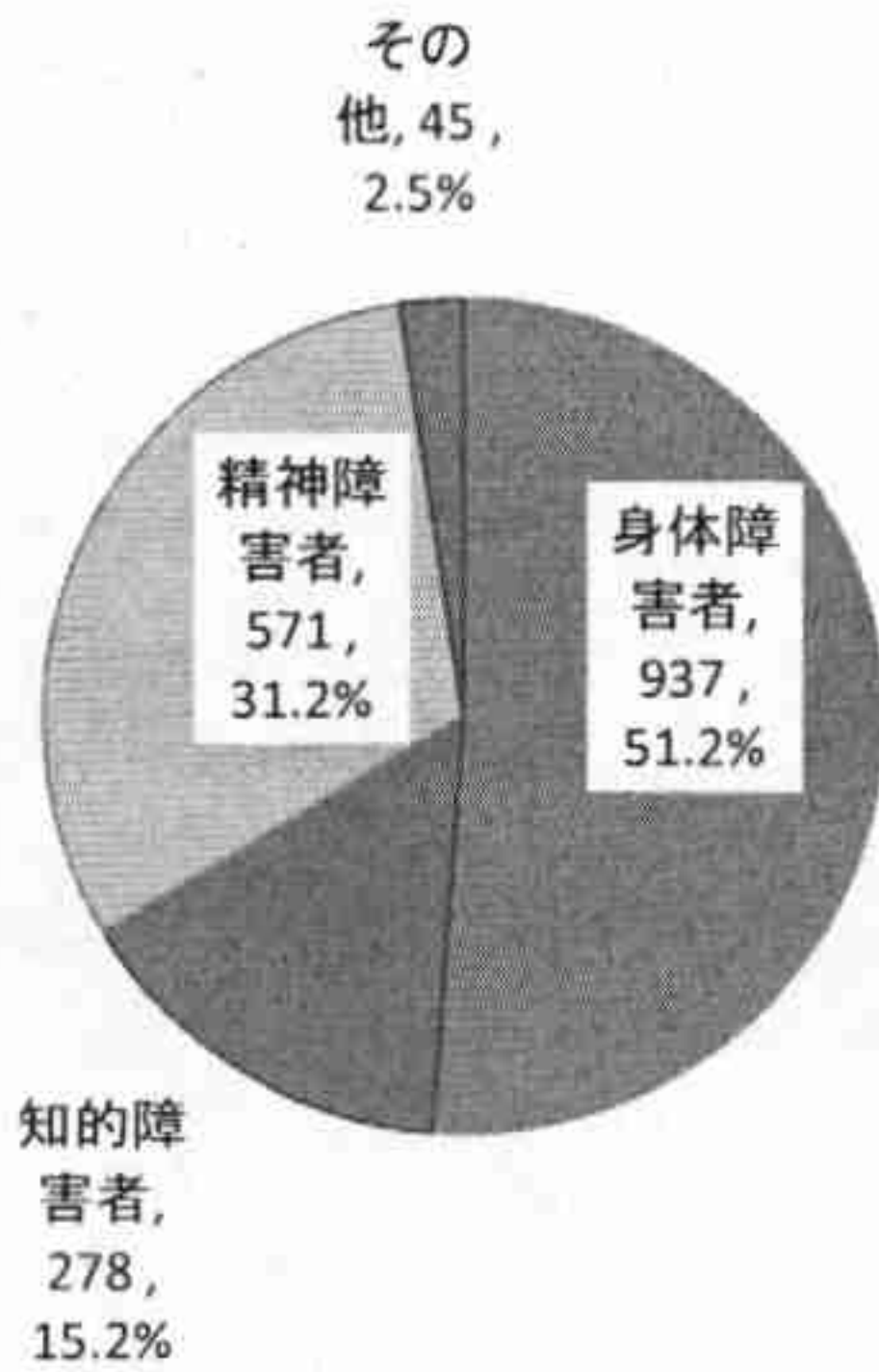
(件、人、%、%ポイント)

	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③就職件数		④就職率(③/①)	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度差
13年度	1	△ 80.0	4	△ 20.0	0	0.0	0.0	0.0
14年度	12	1100.0	14	250.0	0	0.0	0.0	0.0
15年度	2	△ 83.3	10	△ 28.6	1	—	50.0	50.0
16年度	6	200.0	4	△ 60.0	3	200.0	50.0	0.0
17年度	6	0.0	6	50.0	3	0.0	50.0	0.0
18年度	7	16.7	8	33.3	1	△ 66.7	14.3	△ 35.7
19年度	7	0.0	7	△ 12.5	5	400.0	71.4	57.1
20年度	10	42.9	19	171.4	0	△ 100.0	0.0	△ 71.4
21年度	16	60.0	15	△ 21.1	4	—	25.0	25.0
22年度	45	181.3	32	113.3	14	250.0	31.1	6.1

(注)「その他の障害者」とは、発達障害者、高次脳機能障害者、難病者等である。

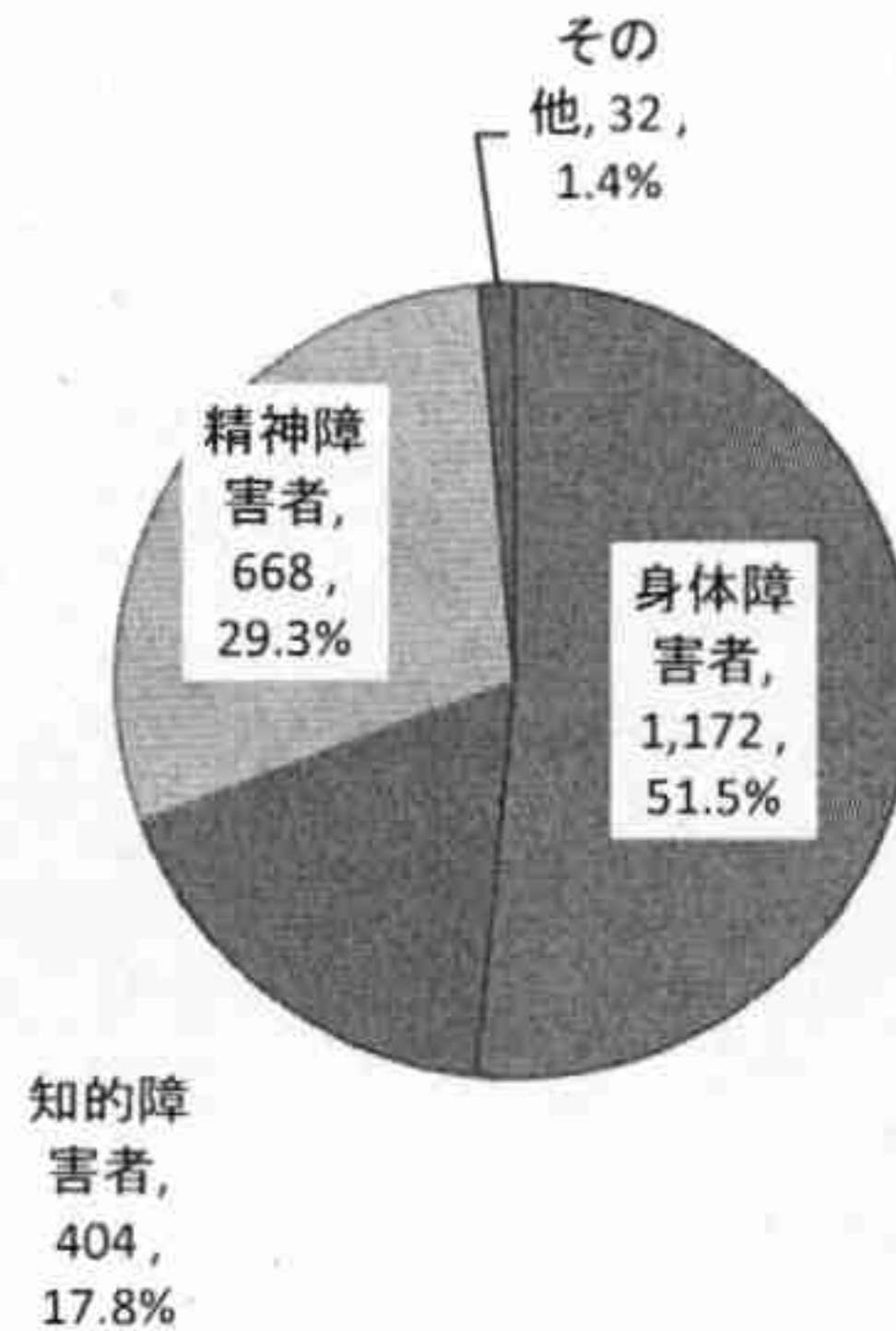
(5) 就職件数等における障害種別の割合(平成22年度)

①新規求職申込件数



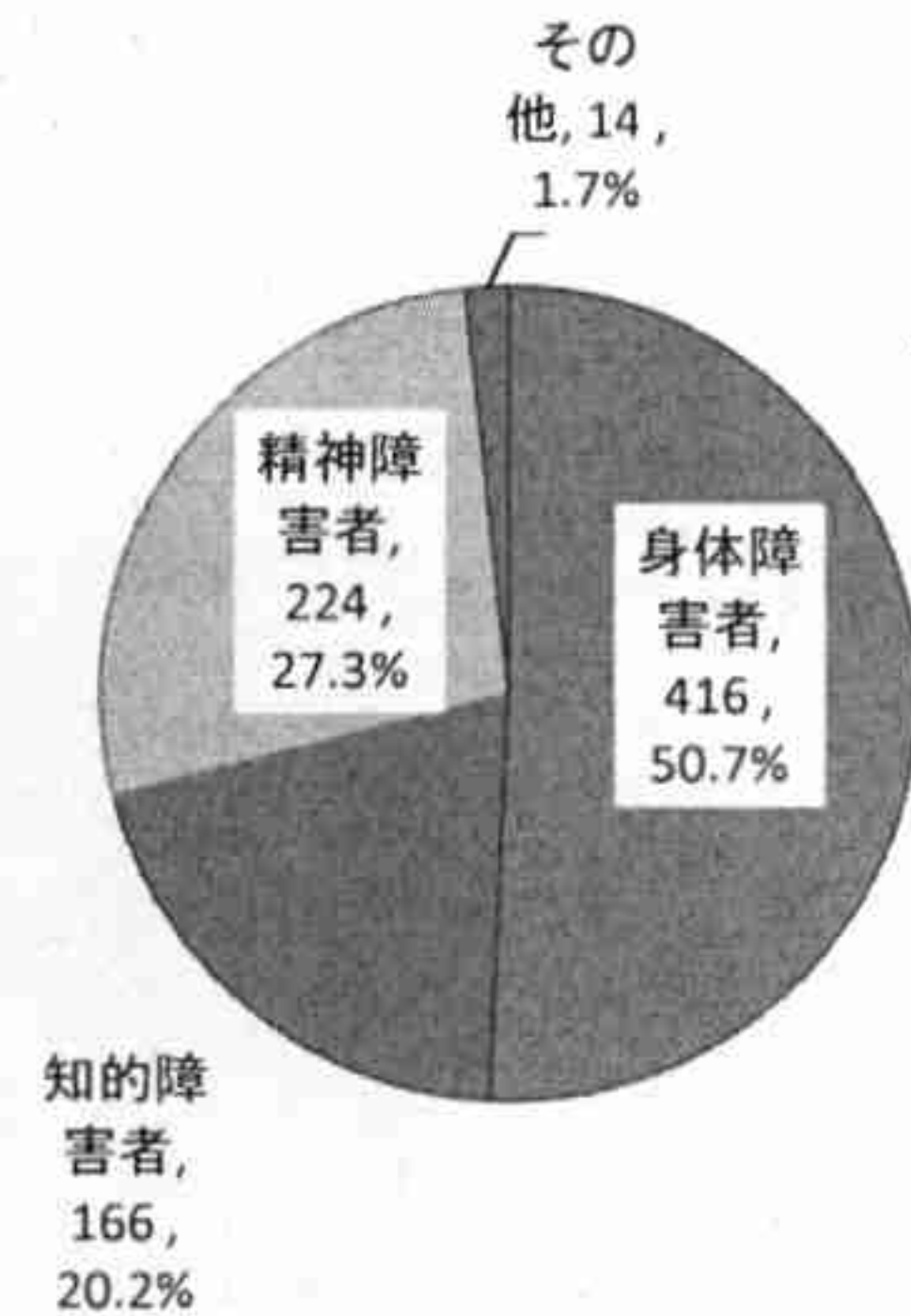
■ 身体障害者 ■ 知的障害者
■ 精神障害者 ■ その他

②有効求職者数



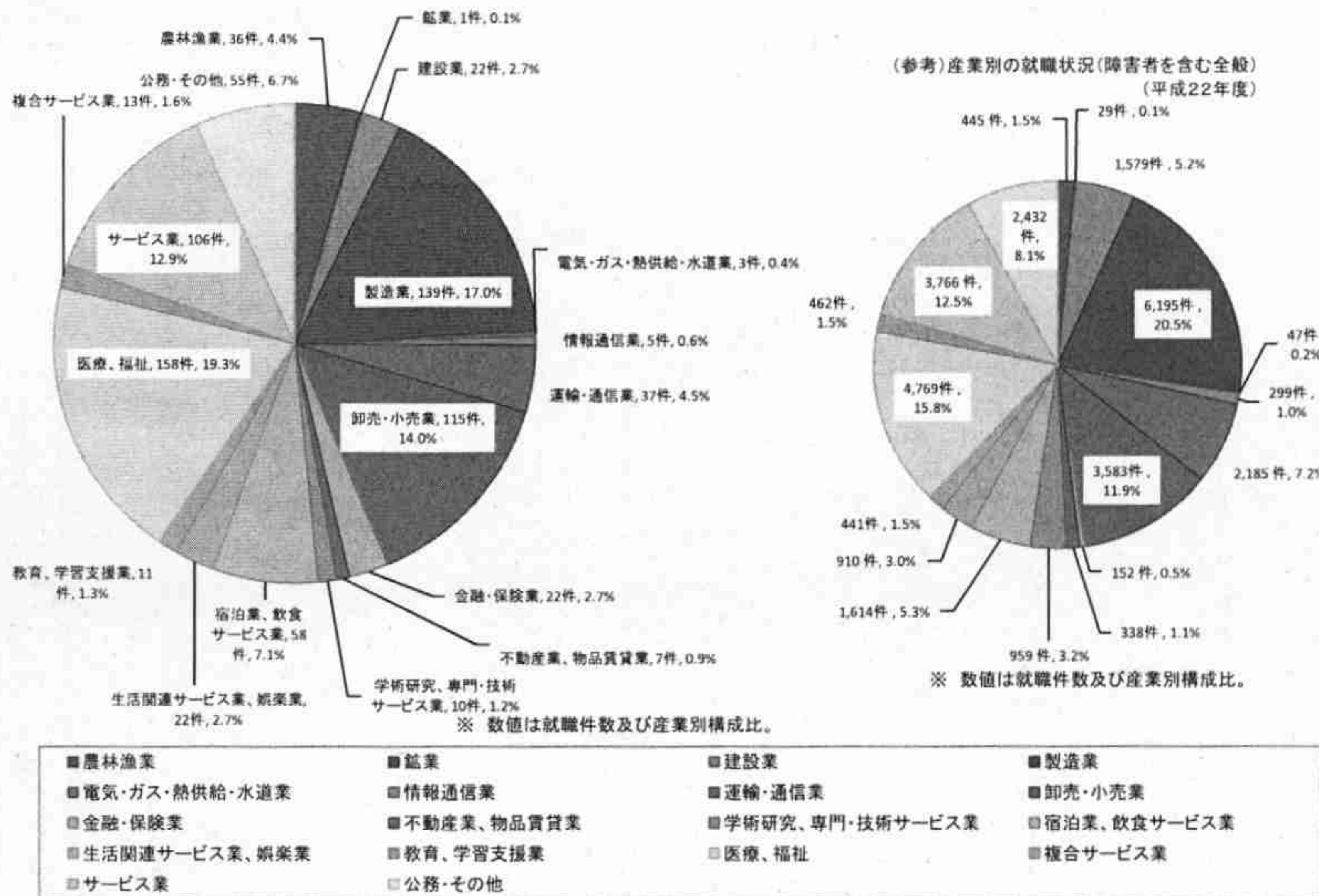
■ 身体障害者 ■ 知的障害者
■ 精神障害者 ■ その他

③就職件数



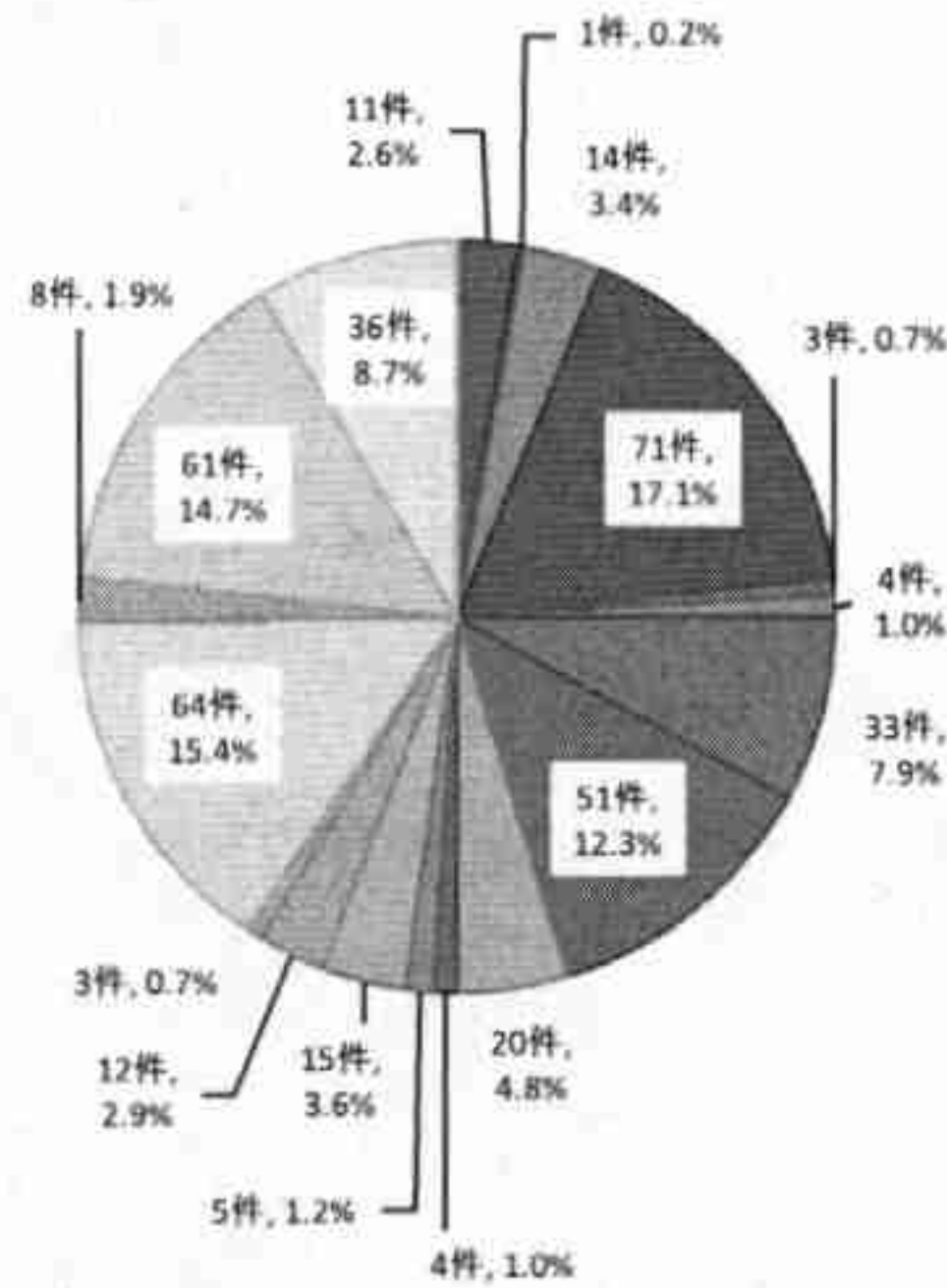
■ 身体障害者 ■ 知的障害者
■ 精神障害者 ■ その他

3. 産業別の就職概要(平成22年度)

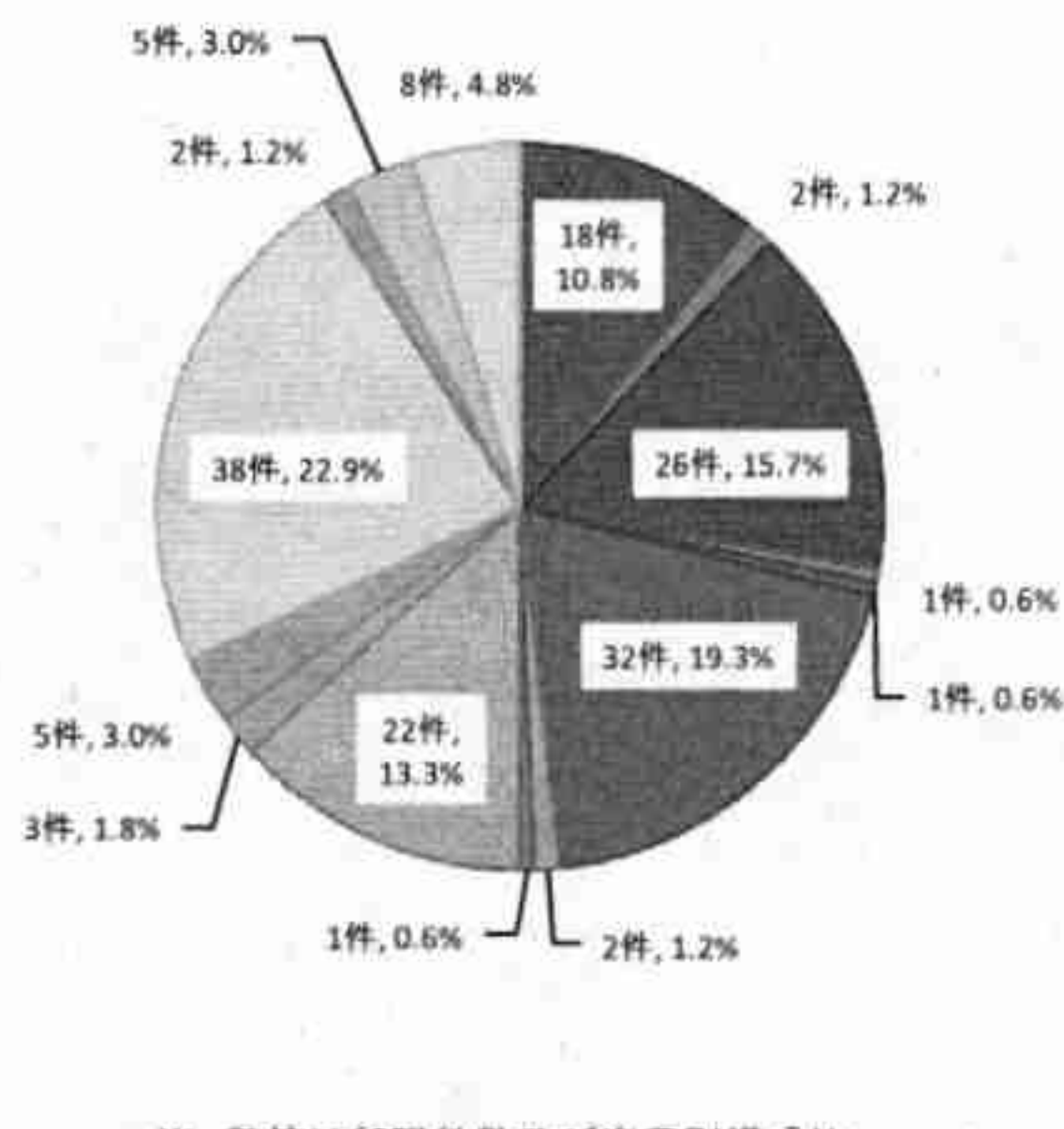


(2) 障害種別の状況

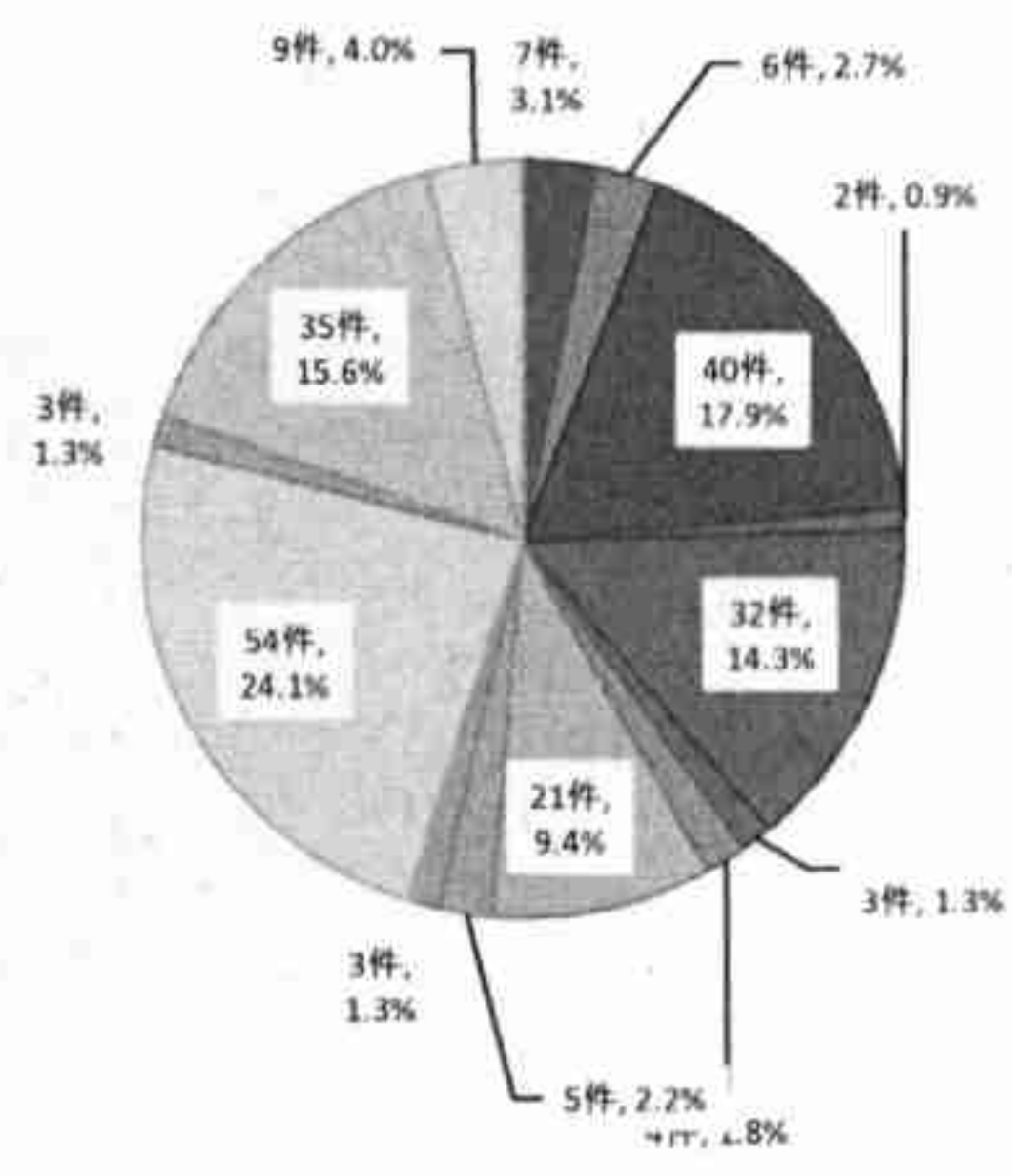
身体障害者



知的障害者



精神障害者



その他の障害者

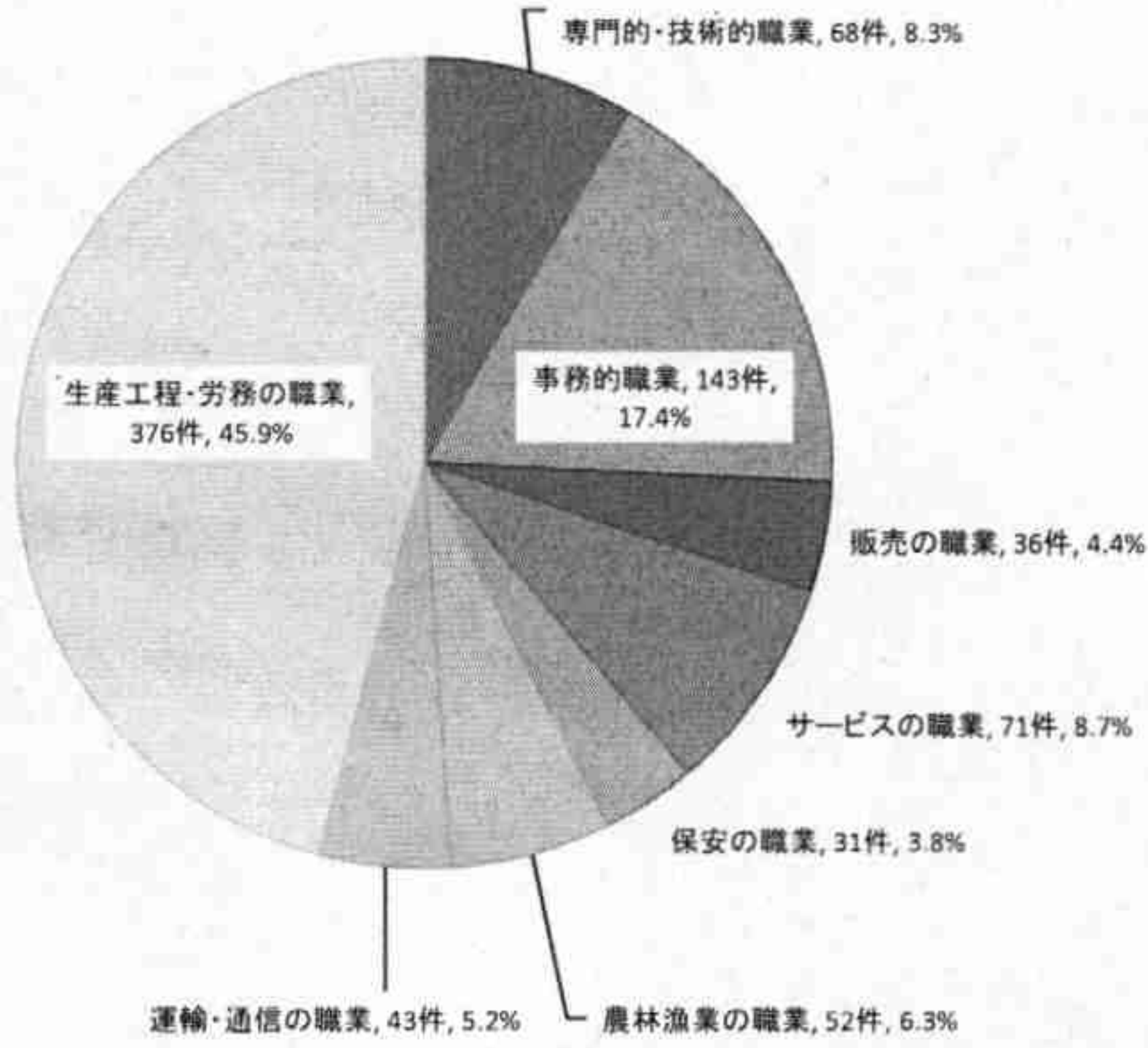
- 製造業 2人
- 運輸・通信業 1人
- 生活関連サービス業、娯楽業 2人
- 医療・福祉 2人
- サービス業 5人
- 公務・その他 2人

〈産業別にみたときの特徴〉

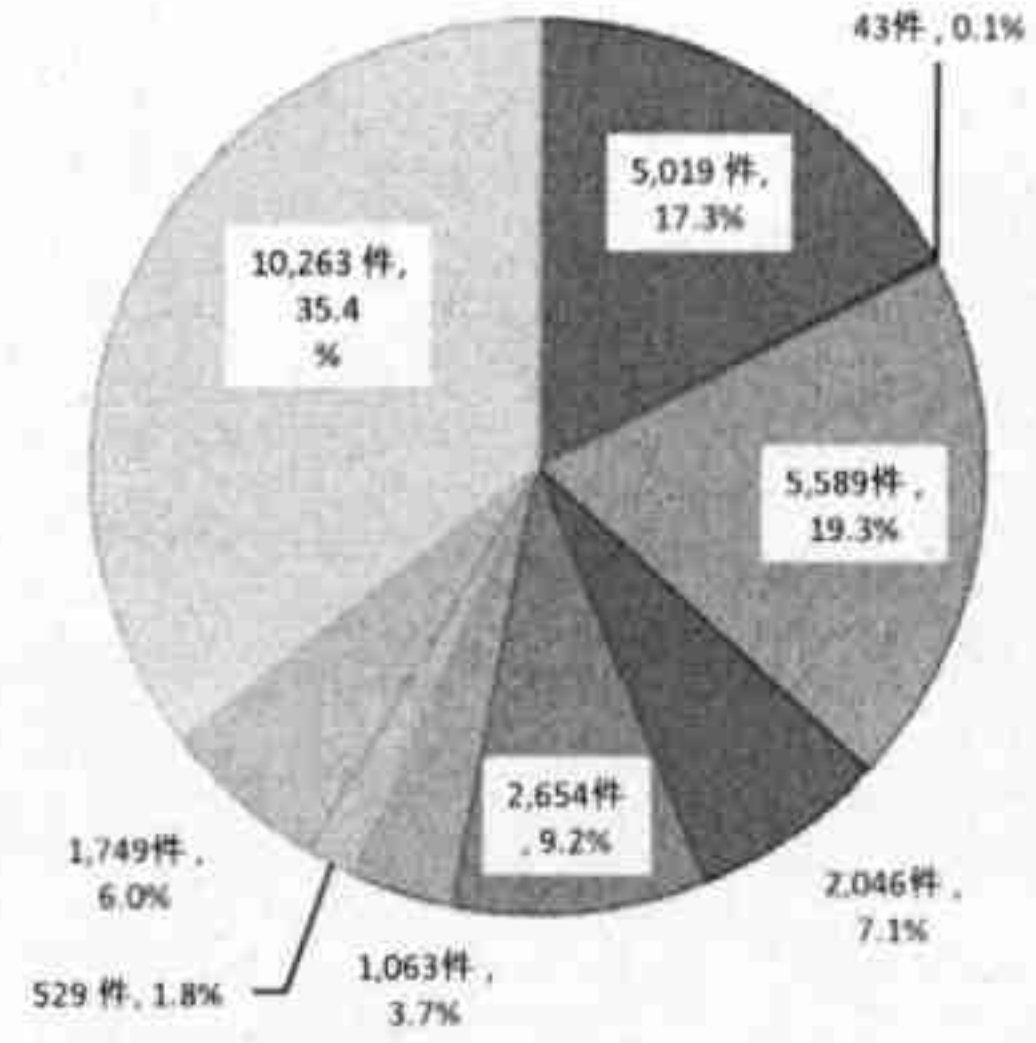
○「医療・福祉」(158件19.3%)、「製造業」(139件、17.0%)、「卸売・小売業」(115件、14.0%)、「サービス業」(106件、12.9%)における就職件数が多い。
 ○前年度比でみると、「卸売・小売業」(69.1%増)、「医療・福祉」(64.6%増)、「サービス業」(43.2%増)が大きく増加している。

4. 職業別の就職状況(平成22年度)

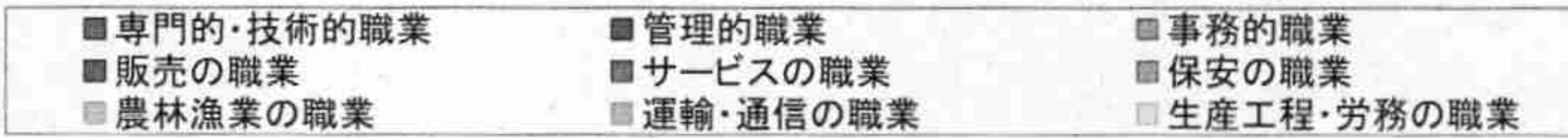
(1) 概要



(参考)職業別の就職状況(障害者を含む全般)
(平成22年度)

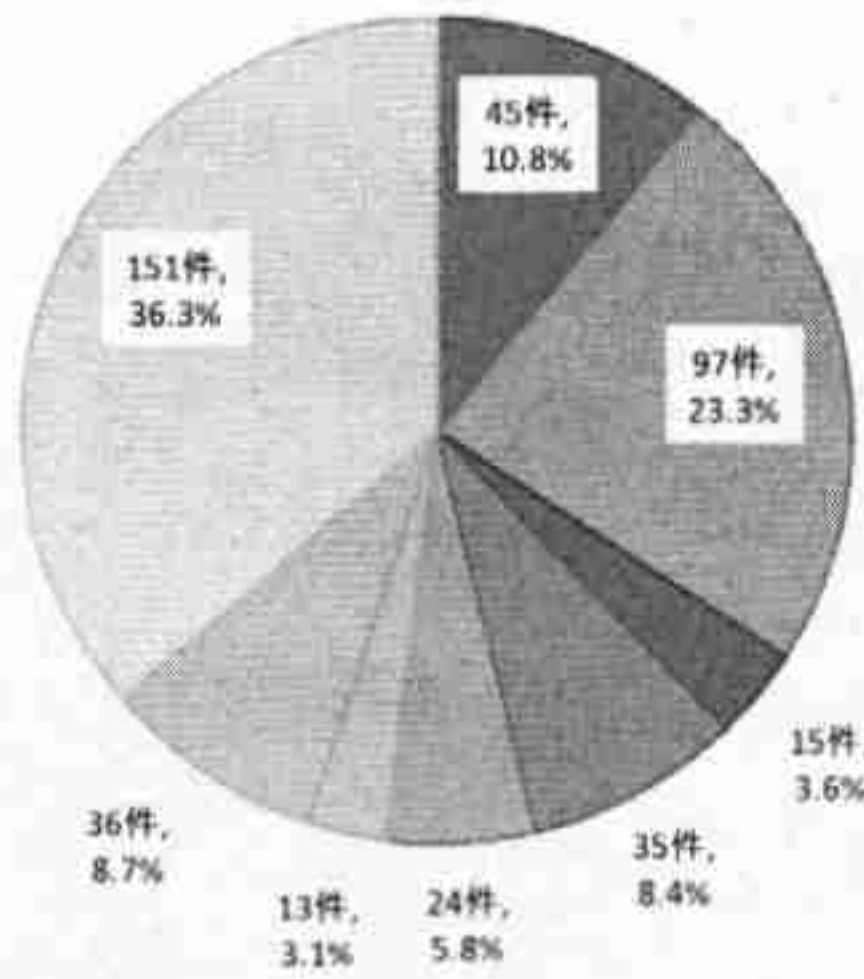


※ 数値は就職件数及び職業別構成比。

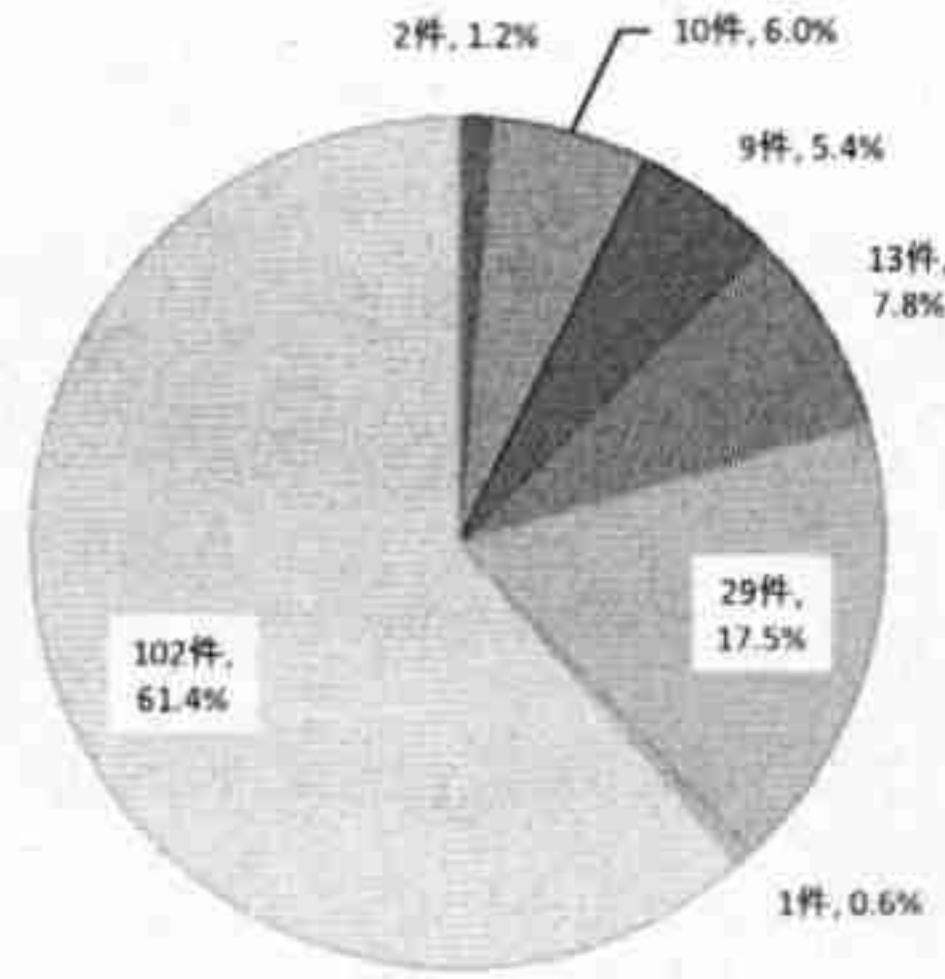


(2) 障害種別の状況

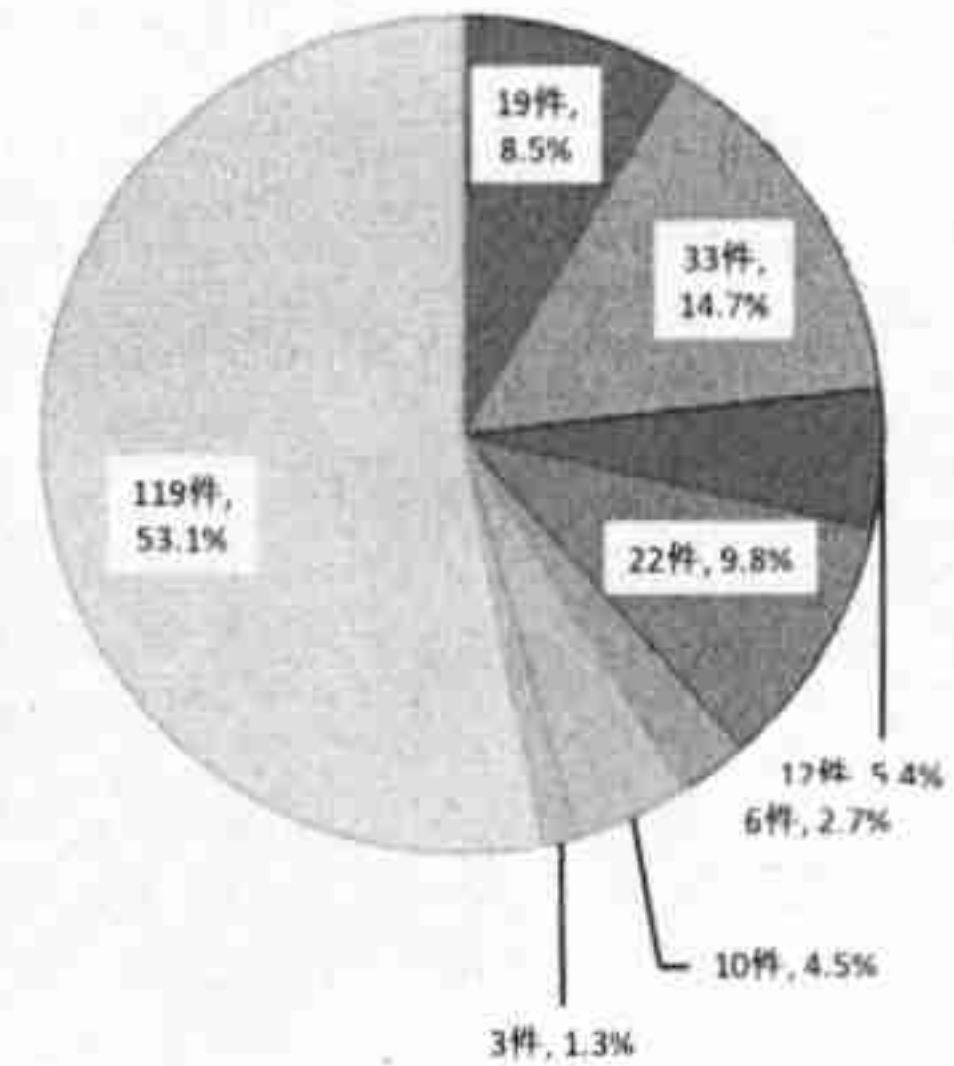
身体障害者



知的障害者



精神障害者



※ 数値は就職件数及び職業別構成比。

その他の障害者
 専門的・技術的職業 2人
 事務的職業 3人
 サービスの職業 1人
 保安の職業 1人
 運輸・通信の職業 3人
 生産工程・労務の職業 4人

〈職業別にみたときの特徴〉
 ○「生産工程・労務の職業」(376件、45.9%)、の割合が大きく、「事務的職業」(143件、17.4%)、「サービスの職業」(71件、8.7%)、「専門的・技術的職業」(68件、8.3%)が続いている。
 ○障害種別では、身体障害者については「事務的職業」(97件、23.3%)、知的障害者については「生産工程・労務の職業」(102件、61.4%)、「農林漁業の職業」(29人、17.5%)の割合が他の障害種別に比べ割合が大きくなっている。

障害者の解雇数（三重局分）

1. 解雇数の推移

年 度	解雇数 年 度 計	障害種別					
		身体障害者		知的障害者		精神障害者	
			うち短時間		うち短時間		うち短時間
平成13年度	73	49	1	23	0	1	0
平成14年度	67	36	1	31	0	0	0
平成15年度	24	16	0	8	0	0	0
平成16年度	23	21	0	2	0	0	0
平成17年度	24	19	0	4	0	1	0
平成18年度	21	12	1	9	2	0	0
平成19年度	10	5	0	3	0	2	0
平成20年度	44	27	0	15	0	2	0
平成21年度	45	21	0	21	0	3	0
平成22年度	25	17	0	8	0	0	0

2. 理由別解雇数

月	理由			
	事業廃止	事業縮小	その他	計
平成21年度	13	26	6	45
平成22年度	16	9	0	25

※ 平成20年11月から集計を開始

3. 都道府県別 解雇届の受理状況

	平成22年度	平成21年度
合計	1,333	2,354
北海道	56	164
青森	35	39
岩手	25	59
宮城	21	44
秋田	17	29
山形	25	35
福島	45	60
茨城	11	31
栃木	41	52
群馬	19	50
埼玉	13	104
千葉	30	59
東京	120	190
神奈川	23	61
新潟	34	64
富山	14	59
石川	24	46
福井	16	15
山梨	18	26
長野	39	89
岐阜	12	36
静岡	57	101
愛知	36	110
三重	25	45
滋賀	10	31
京都	63	16
大阪	103	96
兵庫	39	95
奈良	20	21
和歌山	10	5
鳥取	10	28
島根	10	19
岡山	22	45
広島	29	32
山口	27	27
徳島	6	17
香川	21	13
愛媛	19	24
高知	5	13
福岡	62	91
佐賀	24	60
長崎	13	10
熊本	21	57
大分	12	15
宮崎	30	40
鹿児島	15	24
沖縄	6	7

※ 解雇届については受理した労働局において計上しており、障害者の居住地により計上したものではない。

ハローワークにおいて活用している雇用支援策

【障害者トライアル雇用】

障害者を短期の試行雇用(トライアル雇用)の形で受け入れることにより、事業主の障害者雇用のきっかけをつくり、一般雇用への移行を促進することを目指します。

支援実績 (平成 22 年度)

トライアル開始者数	140 人
トライアル終了後の常用雇用移行率	85.1%

【職場適応援助者(ジョブコーチ)による支援】

障害者の働く職場に職場適応援助者(ジョブコーチ)が出向き、職場での適応に課題を有する障害者及び事業主に対して、作業方法や職場でのコミュニケーションの改善、雇用管理上の助言等を行い、職場定着を図っています。

ジョブコーチ配置数(平成 23 年 4 月現在) 6 人

支援実績 (平成 22 年度、三重障害者職業センター)

支援対象者数	54 人
職場定着率	93.0%

【障害者就業・生活支援センターとの連携】

障害者の身近な地域において、雇用、保健福祉、教育等との関係機関との連携の下、就業面と生活面にわたる一体的な支援を実施しています。就職や働き続けるための支援を日常生活も含めて行っています。

センター設置数(平成 23 年度) 7 センター

支援実績(平成 22 年度)

支援対象者数(在職者含む)	1,665 人
就職件数	191 件

【ハローワークを中心とした「チーム支援」】

福祉から一般雇用への移行を希望する障害者等に対し、ハローワークを中心に福祉等の関係者からなる「障害者就労支援チーム」による、就職の準備段階から職場定着までの一貫した支援を実施します。

就職者数(平成 22 年度) 158 人

「トライアル雇用」による障害者雇用のきっかけづくり

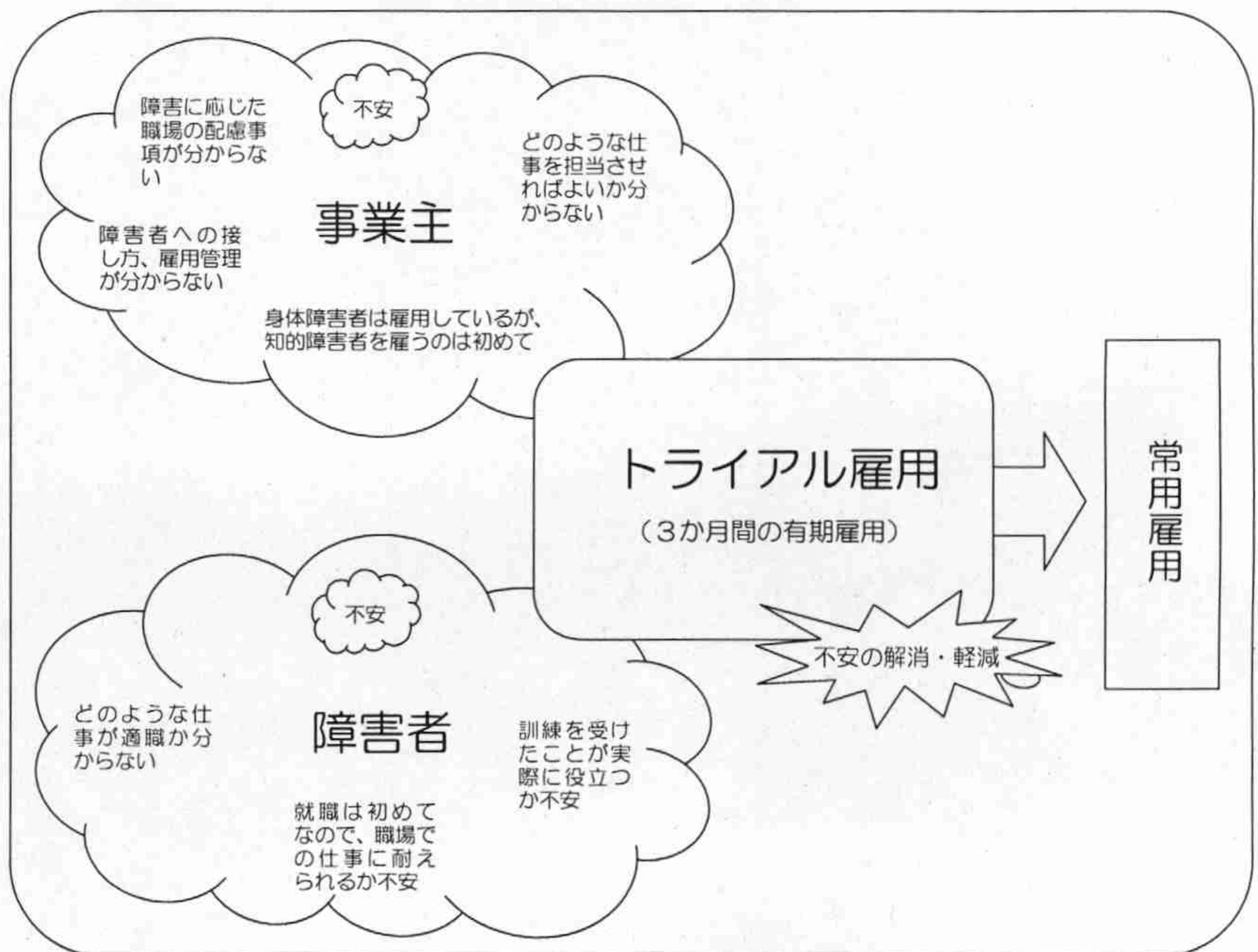
～障害者試行雇用事業～

障害者雇用の取組が遅れている事業所では、障害者雇用の経験が乏しいために、障害者に合った職域開発、雇用管理等のノウハウがなく、障害者雇用に取り組む意欲があっても雇い入れることに躊躇する面もあります。

また、障害者の側でも、これまでの雇用就労経験が乏しいために、「どのような職種が向いているかが分からない」、「仕事に耐えられるだろうか」といった不安があります。

このため、障害者を短期の試行雇用（トライアル雇用）の形で受け入れることにより、事業主の障害者雇用のきっかけをつくり、一般雇用への移行を促進することを目指します。

- 期 間 3か月間を限度（ハローワークの職業紹介により、事業主と対象障害者との間で有期雇用契約を締結）
- 奨励金 事業主に対し、トライアル雇用者1人につき、月4万円を支給
- 実 績 開始者数140人、常用雇用移行率85.1%（平成22年度）



職場適応援助者（ジョブコーチ）による支援について

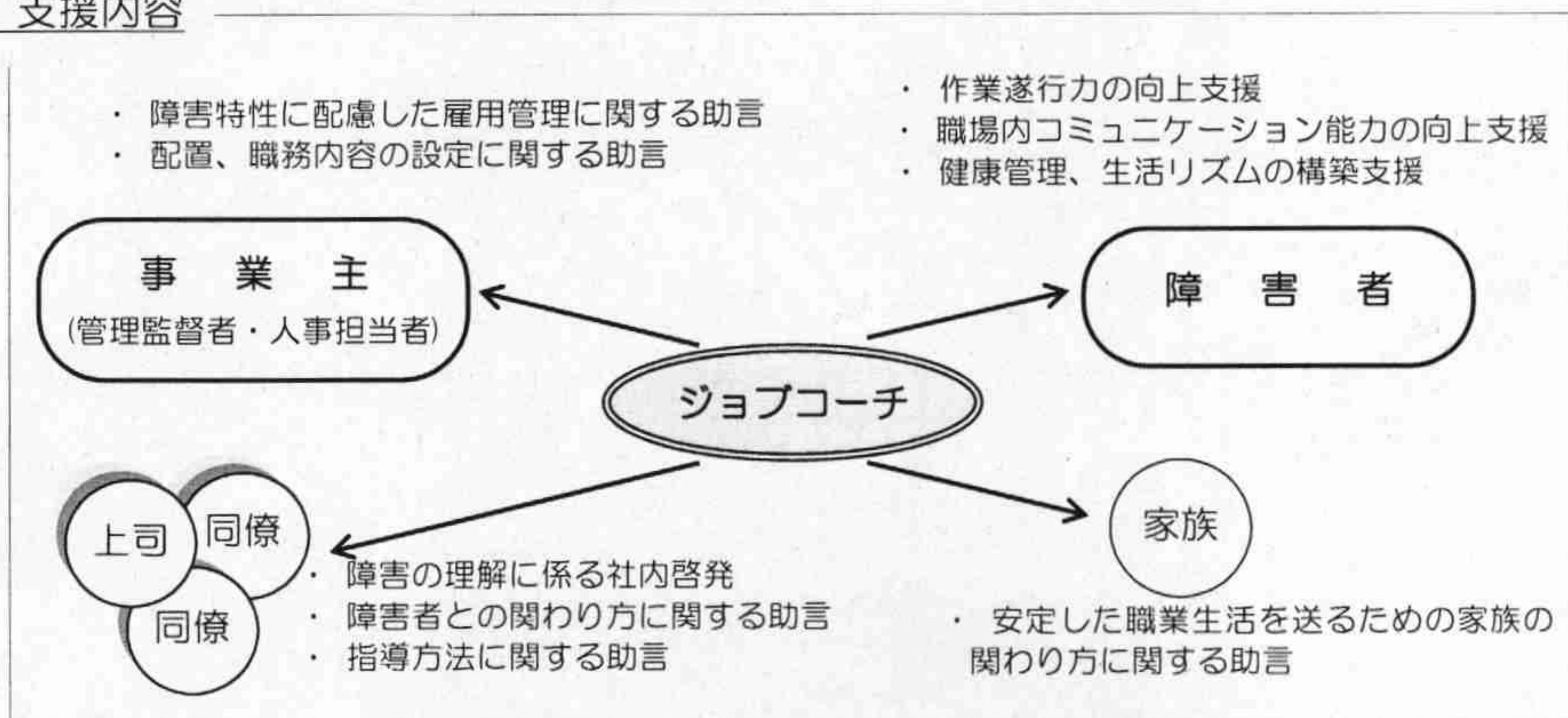
知的障害者、精神障害者等の職場適応を容易にするため、職場にジョブコーチを派遣し、きめ細かな人的支援を行う。

地域障害者職業センターにおいてジョブコーチを配置して支援を実施するとともに、就労支援ノウハウを有する社会福祉法人等や事業主が自らジョブコーチを配置し、ジョブコーチ助成金を活用して支援を実施。

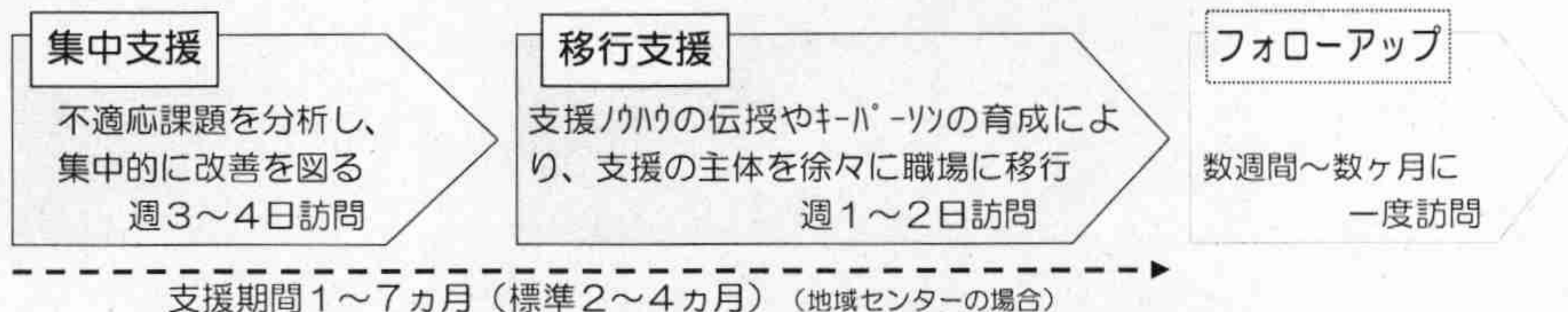
◎ 支援の契機

- ・ 就職時（雇用前又は雇入れと同時に支援を開始）
- ・ 職場環境の変化等により職場適応上の問題が生じたとき

◎ 支援内容



◎ 標準的な支援の流れ



◎ ジョブコーチ配置数（平成23年4月末現在）

計7人	地域センターのジョブコーチ	6人
	第1号ジョブコーチ（福祉施設型）	1人
	第2号ジョブコーチ（事業所型）	0人

◎ 支援実績（平成22年度、地域センター）

支援対象者数 54人

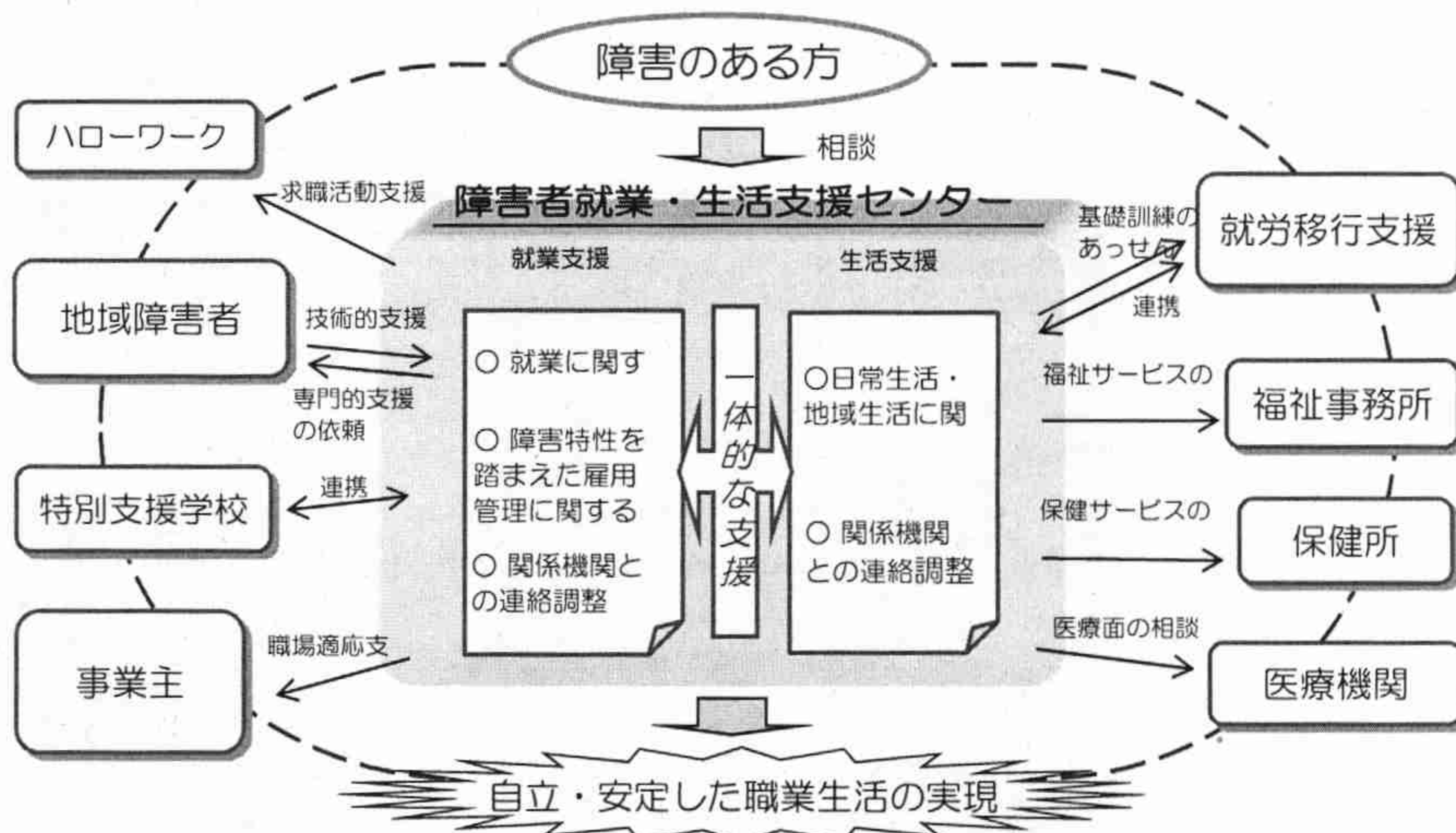
職場定着率 93.0%

（支援終了後6ヵ月：平成21年10月～平成22年9月までの支援修了者の実績）

障害者就業・生活支援センター事業（雇用と福祉の連携事業）

就職を希望されている障害のある方、あるいは在職中の障害のある方が抱える課題に応じて、雇用及び福祉の関係機関との連携の下、就業支援担当者と生活支援担当者が協力して、就業面及び生活面の一体的な支援を行います。

雇用と福祉のネットワーク



◆ 障害者就業・生活支援センターでの業務の内容

就業及びそれに伴う日常生活上の支援を必要とする障害のある方に対し、センター窓口での相談や職場・家庭訪問等を実施します。

<就業面での支援>

- 就職に向けた準備支援（職業準備訓練、職場実習のあっせん）
- 就職活動の支援
- 職場定着に向けた支援
- 障害のある方それぞれの障害特性を踏まえた雇用管理についての事業所に対する助言
- 関係機関との連絡調整

<生活面での支援>

- 生活習慣の形成、健康管理、金銭管理等の日常生活の自己管理に関する助言
- 住居、年金、余暇活動など地域生活、生活設計に関する助言
- 関係機関との連絡調整

◆ 設置箇所数

平成23年度 7センター

関係機関のチーム支援による、福祉的就労から一般雇用への移行の促進

～ 「地域障害者就労支援事業」のスキームの全国展開 ～

